

2023 年度水辺の自然再生共同シンポジウム開催要項・次第

激変する水辺の原風景-豊かな自然を次世代へ

アメリカザリガニの条件付き特定外来種指定と持続可能な防除活動

期 日	2023 年 11 月 25 日 (土) 講演と総合討論 11 月 26 日 (日) 現地研修会 (大崎市鹿島台里山のため池*)
会 場	大崎市新庁舎 301 会議室
主 催	水辺の自然再生共同シンポジウム実行委員会 (企画責任団体 : NPO 法人シナイモツゴ郷の会、共催団体: 大崎市、旧品井沼周辺ため池群里山未来協議会、シナイモツゴ郷の米づくり手の会、全国ブラックバス防除市民ネットワーク)
後 援	大崎市教育委員会、JA 新みやぎ、TOYO TIRE グループ環境保護基金

*旧品井沼由来のシナイモツゴとゼニタナゴが生息する大崎市里山のため池で、住民により 100 年以上にわたり受け継がれ、今も守り続けられている生物多様性の現況と保全技術を実地研修します。

次 第

あいさつ	大崎市	伊藤康志	市長	10:00
趣旨説明	シナイモツゴ郷の会	高橋清孝	理事長	10:05

第一部 変わりゆく水辺の原風景 昔と今 (各 25 分) 10:15~11:30

- ①イサベラバードが見た 19 世紀日本里山の原風景
近畿大学 (奈良市) 細谷和海
- ②変わりゆく扇状地の風景-トゲウオのすむ川の昔と今
岐阜協立大学(大垣市) 森 誠一
- ③変わりゆく里山水辺の風景-外来種による破壊と防除による復元
シナイモツゴ郷の会 高橋清孝

昼食 12:00~13:30

第二部 水辺の自然再生 取り組み事例 (ポスターセッション) 展示 10:30~15:00

ショートスピーチ (11:30~12:00、各 2 分) ポスター前説明・質疑応答 12:30~13:30

- ① 里山のため池で生き続けるシナイモツゴ
シナイモツゴ郷の会 秦 康之
- ②伊豆沼の外来種対策と在来種の復元
宮城県伊豆沼内沼環境保全財団 藤本泰文
- ③担い手育成プロジェクト「おおさき生きものクラブ」の活躍
大崎市世界農業遺産未来戦略室 三宅源行
- ④里山小河川の環境 DNA 調査でわかったこと
東北生活文化大学短期大学部 黒川優子・シナイモツゴ郷の会 高橋清孝

- ⑤シナイモツゴを保全するシナイモツゴ郷の米
シナイモツゴ郷の米づくり手の会 吉田千代志
- ⑥アメリカザリガニ捕獲トラップ誘引餌の再検討
シナイモツゴ郷の会 高橋清孝・佐伯光広
- ⑦旧品井沼周辺ため池群から採取した埋土種子の栽培試験
南郷高校 早坂史郎・エコバル化女沼 高橋和吉
- ⑧塩水飼育による捕獲ザリガニの旨味向上と有効活用
シナイモツゴ郷の会 高橋清孝
東北生活文化大学短期大学部 黒川優子・南郷高校 早坂史郎
- ⑨オオクチバス漁業権の矛盾と今後の行方
全国ブラックバス防除市民ネットワーク 半沢裕子

自然再生ツールなど実物展示 (シナイモツゴ郷の会他) 10:30~15:00

- ① シナイモツゴとゼニタナゴ水槽 シナイモツゴ郷の会
- ② アメリカザリガニ連続捕獲装置、小型ザリガニ専用トラップ、人工水草等自然再生ツール
- ③ 有効活用、塩水飼育ザリガニ試食

第三部 アメリカザリガニ対策の取り組み 現状と今後の方向

1) 基調講演 (各 20 分) 13:30~14:30

- ①アメリカザリガニによる農業被害と農村環境保全のとりくみ
農林水産省 鳥獣対策・農村環境課 三田康祐
- ②岡山県に定着したアメリカザリガニの繁殖生態
岡山大学 中田和義
- ③アメリカザリガニ侵略の実態と新たな防除の展開に向けて
中央大学 西原昇吾

2) アメリカザリガニの防除と今後の取り組み (各 15 分) 14:30~15:30

- ①里山ため池のアメリカザリガニ防除と資源動向
シナイモツゴ郷の会 佐伯光広・君島裕介・長谷川政智・高橋清孝
- ②ゼニタナゴ生息池のアメリカザリガニ防除と二枚貝や水生昆虫の復元
シナイモツゴ郷の会 長谷川政智・高橋清孝
- ③ニッポンバラタナゴ生息池のアメリカザリガニ防除と植物の復元
大阪経済法科大学 ECO~る∞KEIHO 馬場雄司
- ④鶴岡市都沢湿地のアメリカザリガニ防除と捕獲個体の有効活用
鶴岡市自然学習交流館ほとりあ 上山剛司

休憩 15:30~15:40

総合討論 15:40~16:30
座長 シナイモツゴ郷の会 高橋清孝